

学校訪問シリーズ 55

大分市立判田小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「自ら学び考える心豊かでたくましい子どもの育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「自己表現力」と定め、4部会を中心に実践を深めています。今年度は、学力調査結果等の分析から、道徳を核とした問題解決力や対話力を高める実践や、授業のふりかえりでは「本時（単元）で何を学んだか、できるようになったか」「これからどのようなことに活かしたいか」等を意識させる取組を組織的に行っています。

また、判田中学校と連携を深め、児童会と生徒会との合同あいさつ運動等も行っています。そのようなこともあり、最近では、児童会運営委員会の説明の仕方が向上し、全校のお手本のようになってきたそうです。

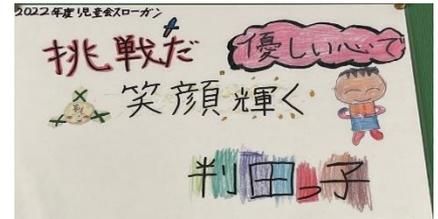


授業から学ぶ

2年生道徳では、短時間の学び合いを複数回取り入れることで、子ども達同士の学びが深まっていました。

6年生理科は、班で協力しながら全員が意欲的に実験を行う姿から、一人一人を大切にされた学級経営が行われていると感じました。

今後は、自己表現力につながる学び合いの在り方や、教師の立ち位置や支援の方法を検討されてみてはいかがでしょうか。



NO.340 2022年11月 大分市立判田小学校

考える子

実際にやってみると、予想したことと異なったり、不思議な発見がある。新たな課題が見つかる。



NO.341 2022年11月 大分市立判田小学校

優しい子

友達と目線を合わせる。友達のノートを見て説明する。学び合う時は常に相手のことを考える。



NO.339 2022年11月 大分市立判田小学校

目的の共有

実験の目的を理解しているから、自分が何をすべきか考えて行動できる。



NO.343 2022年11月 大分市立判田小学校

ワクワクドキドキ

静かにお話を聴くと、その光景が見えてきて、その物語の中に自分も入っている。



NO.342 2022年11月 大分市立判田小学校

がんばる子

一人ではできないことも、認め合い、励まし合う仲間がいるから頑張れる。